

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名 (Roselle Association Club)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			どの事業所も必要な広さの訓練室を 設けています
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者1人、 児童指導員2名以上、人員配置をしていま す。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			洗面所、手洗い場等 幼児が使用する際には 踏み台を設置して対応しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			支援目標を決定後、具体的な支援内容を 職員間で共有しています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的に、保護者向け評価表アンケートを 実地して、業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価表を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			評価する部署、同系列の事業所や法人の方に 定期的に評価頂き指摘事項の改善に 努めています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			県、市町村主催の研修及び法人事業所内研 修、事業所内研修等、実地して職員のスキル アップをおこなっています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			県推進のエイブルを活用して、アセスメント を行い、利用者のニーズに沿った支援計画を 立てています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			相談支援員、学校、保護者との連携を図り、 利用者の成長過程を継続支援しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員ミーティングを週一は時間をかけて、会 議を行い、活動プログラムの立案を計画して います。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラム内容が、利用者にとって、飽 きの無く、継続性ある活動が出来る様に職員 間で吟味してプログラムを修正している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用者の要望も受け入れながら、職員会議を 行い、平日、休日、長期休暇の活動や課題を 設け支援をしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			運動プログラム、学習プログラム、 個々に応じて課題を与え、 支援に取り組んでいます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎朝、ミーティングにて、利用者、 スタッフ人員配置や活動内容確認と ブリーフィングを行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日の利用者の健康状態、 利用者の変動を報告、 職員間で共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			連絡帳、個別サービス提供記録を元に、 職員間で共有、支援の質の向上に 努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとの個別支援計画書作成前に、 モニタリング、モニタリング会議を行い 支援内容を修正しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			運動プログラム、字百絵画教室、地域クレーン 活動、地域散策、公共施設活用しての 戸外活動等を習慣化して飽きの無い 支援活動をおこなっています
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者、 法人担当者が、参画しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者からの利用予定表や学校からの 伝達を頂き、送迎時の確認、共有していま す。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等連絡体制を整えているか	○			現在は、医療ケア必要な児童は居ないが 医療協定を締結し病院との連携を 図ることと主治医の連絡先を控えています。
		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子				保護者、学校、相談支援委員など共に

関係機関や保護者との連携	②③	子ども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		連携を図り児童発達支援サービスから放課後等デイサービスの移行もスムーズに行える様に努めている。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		現在は、該当する利用者は居ませんが、将来に向けて必要に応じて当事業所契約期間の情報提供を行います。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関を連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けて行きます。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		従来に向けて、地域のイベント等に参加して、地域の子供達との関わる機会を作っていきたい。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		関連機関の研修会に参加しています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や利用者の送迎時、利用者に変化が見受けられるときに、保護者との面談したり、電話対応をして、日常から保護者との共通理解に努めています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		日常から、相談支援員、各法人担当者から、指導頂き保護者への対応方法をサポートして貰ってます。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に全て説明させて頂いています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		管理者、各法人担当者、相談支援員、スタッフと話し合いを持ち、難課題については、代表の助言、支援を頂き保護者や家族をサポートしています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		平成29年度に合同保護者会を開催して、事業所事の保護者からの相談受けたり、適切な助言を行いました。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情処理受付箱を設置して、苦情が発生した時には、迅速対応、迅速解決に努めます。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		法人事業所の行事予定、事業所のイベントお知らせ文等、必要に応じて保護者に配布し、利用者に伝達しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に関する書類は鍵の掛かる書庫へ保管しています。スタッフには秘密保持同意書への署名を行っています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用者の特性に応じて理解しやすい方法で伝達出来る様に努めています。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		事業所行事に地域住民を招待に関しては未実地ですが、地域クリーン活動を通して地域住民への挨拶を心掛けたり、地域住民から、お礼の菓子を頂いたり、地域の牛舎、やぎ舎、飼い犬へのふれあい体験させて頂いたり等、従来に向けて、地域に開かれた事業運営を図っています。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを作成設置して、必要に応じて職員間で共有、周知しています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回避難訓練を実地して、避難訓練計画書、避難訓練報告書をファイリングしています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか	○		県、市町村が主催する研修に参加し、尚且つ事業所内研修を行いスタッフ全員が周知するようにしています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束する対象の利用者はいませんが、マニュアルを作成して記録が残るように努めます。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーのある利用者対応について注意文書を掲示し職員間で共有しています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎月初めに各スタッフ、ヒヤリハット書を提出しファイリング。ミーティング時に改善策を話し合っています。